

EBM総論

《キーワード》 Evidence Based Dentistry

《担当者名》 谷村 明彦

【概要】

近年の歯科医学の発展によって、多くの新しい材料及び治療法が開発され臨床応用に至っている。しかしながら、日常臨床では、正確な診断のみならずそれぞれの症例に応じた最適の材料と治療法を選択することが重要である。材料や治療法の選択は、歯科医師の判断に委ねられており、正確な知識と経験が要求される。

この授業では、様々な症例に最適な材料と治療法を選択する際に参考となるEBM (Evidence-Based Medicine)、すなわち、「根拠に基づいた医療」について理解し応用できることを目標とする。

【学修目標】

1. EBMについて説明できる。
2. EBMに基づいて治療法を選択できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	EBM		
2	EBM実習		

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、提出物

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【学修の準備】

EBMについて関連文献等を事前に読んでくること。